

I love!♡
North Edogawa

経営に変革を、日本に発展を。江戸川を愛する経営者の会

[えどきた]
E Do KITA

1
2023

VOL.262

江戸北の人

花火師・柔道家

天野安喜子



身近な社会探訪

櫓漕ぎ船でたどる、塩の道「新川」

こんなの知ってる？

人とロボットが共生する世の中がもう目の前に！

花火師・柔道家

天野 安喜子

日本の伝統を守り、
新たな時代を切り拓く

観客動員数日本一の江戸川区花火大会で、代々打ち上げを担ってきた宗家花火鍵屋。創業360年超の老舗花火屋の女性初の当主であり、柔道界でも日本女性初のオリンピック審判員として名を馳せる。そんな類稀な経歴をもつ人が江戸川区にいます。



天野安喜子（あまの・あきこ）

江戸川区東小松川在住。「宗家花火鍵屋」15代目当主として日本の代表的な花火大会のプロデュースを行う。日本大学大学院芸術学研究所博士後期課程修了。芸術学博士。7歳から始めた柔道は七段。1986年の福岡国際女子柔道選手権大会で銅メダルを獲得。家業を継ぐために引退し、その後、柔道の審判員を始め、2001年に国際柔道連盟審判員の資格を取得。2022年から江戸川区教育委員に就任

宗家花火鍵屋の創業は江戸時代の万治2年（1659）。その後、徳川家宣の命により隅田川で初めて花火を打ち上げたのは正徳元年（1711）、現在行われている隅田川花火大会が開催されたのはそれからさらに後のことになる。

そんな鍵屋の次女として生まれた安喜子さん。幼いころから活発で負けず嫌い。たとえ相手が男の子でも年上でも、引き下らない鼻っ柱の強い女の子だった。

柔道を始めたのは父が道場を開いた7歳の時。中学3年生で国の強化選手となり、高校1年生で当時日本一と言われていた山口香選手を初めて破った選手として注目を浴びた。その後も女子柔道界の第一線で多くの戦歴と期待を抱えながら、オリンピックへの出場は適わず、選手生活にピリオドを打ったのは大学4年のときだった。

本格的に花火の修業を始めたのは22歳の夏からだ。19歳で火薬類取扱保安責任者の資格を獲得し、大学卒業後は鍵屋に入社。翌年から山梨の花火工場で2年間の修業を行い、花火の知識や、職人の世界観などを身に付けた。その後は父のそばで交渉術や現場での動き方などを肌で感じ、男社会と言われる花火の現場で自らの立ち位置を確立してきた。30歳となる2000年、15代当主を襲名。350年の重みを感じながら、今まで懸命に走ってきた。

花火も時代と共に進化している。鍵屋ではまずテーマを決め、テーマに合う花火をオリジナルで工場に発注。意味性やストーリー性などを持たせた効果的な演出を考

える。江戸川区花火大会は準備にも時間を長く割き、彼女が最も思い入れを持っている花火大会でもある。

一方、柔道は選手を引退してから、審判員として活動している。日本初の女性オリンピック審判員となり、時代の先駆者としても注目された。初の五輪の量は2008年の北京オリンピック。東京五輪の代表選考で務めた阿部一二三選手と丸山城志郎選手の試合での主審も話題となった。本大会は日本人唯一の審判員として男子100kg超級の決勝をはじめ、37試合を裁いた。

「大好きだった父を追いかけて花火師となり、父の助言で柔道の審判員になりました。鍵屋を継ごうと決めたのも『花火師に』というより『父のようになりたい』という気持ちが強かったと思います。『花火の現場は火の神が宿る場所』と言われていた男社会。同じように柔道も当時は女性が少なかったので違和感はありませんでした。私自身、とてもお転婆な子でしたし（笑）」。

夜空を鮮やかに演出する花火と、日本古来の武道である柔道。どちらも間とリズムが大切、と語る天野さん。女性ならではの繊細な感性も大切に、見る人を感動させる花火と、女性審判員の育成を目指す。

「江戸川区がホームですね。遠征から帰ってくるとホッとします。町の匂い、顔にあたる風、声をかけてくれる近所の人たち。ここでリフレッシュできるからこそ、外の世界で闘っていける」。

家では大学生になる娘の良き母親だ。江戸川で心穏やかに過ごしながら、日本の古き良き伝統を守り、進化させながら次代へ繋いでいく。



ろこ 漕ぎ船でたどる、塩の道「新川」

江戸情緒あふれる憩いのスポット

江戸川区を東西に流れる新川は徳川家康が行徳の塩を江戸に運ぶために開削した人工河川。その新川で和船文化の継承や地域の活性化を目的に活動している和船の会があります。



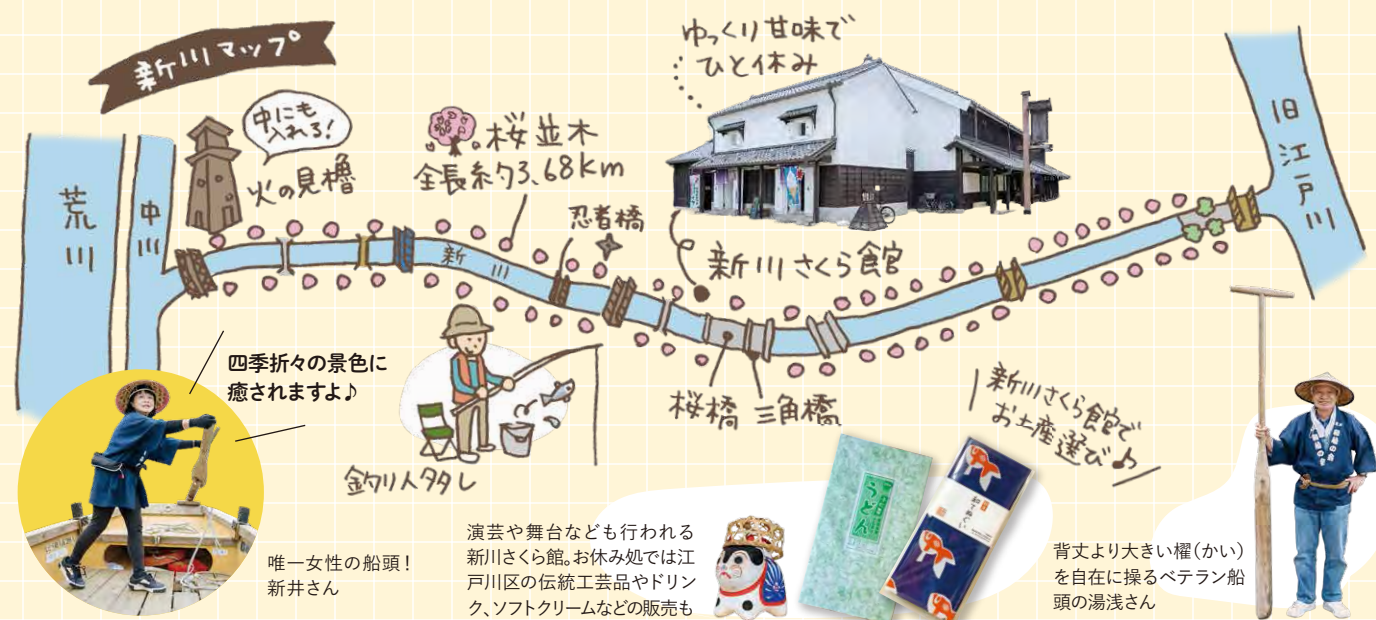
火の見櫓



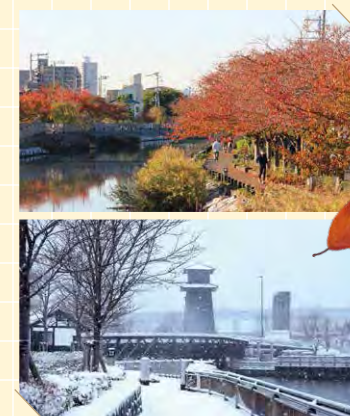
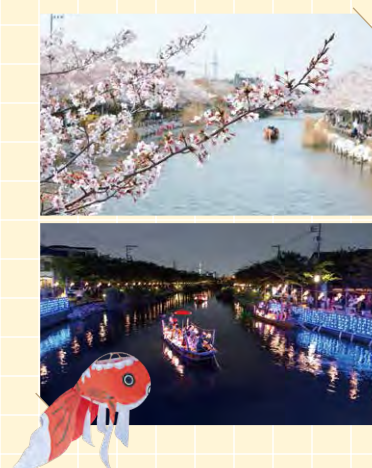
徳川家康が新川の船路開削を命じたのは天正18年(1590)。以来、江戸に物資を運ぶ水路として利用され、川沿いには多くの店が軒を連ね賑わいをみせていました。明治期には新川〜江戸川〜利根川とつながる水路に複数の蒸気船も運航しました。



土日祝日と桜の季節のみ中に入れます!



新川の四季



桜に彩られた春、金魚ちょうちんが沿道を飾る夏、紅葉の秋、雪景色の冬。季節ごとに美しい景色をみせる新川。

新川は現在、風情ある木造の橋が点在し、周辺住民の憩いの場として親しまれています。平成4年からは都による護岸工事・耐震工事が行われ、新川の地下には日本初の河川地下駐車場が作られました。平成19年に始まった「新川千本桜計画」も平成27年に完成し、春には20種718本の桜が咲き誇り、ピンクに染まったのどかな景観を楽しめます。

今回は和船の会のご協力で漕ぎ和船の操船を特別に体験。通常は、「新川千本桜まつり」や「新川金魚ちょうちんまつり」など、イベント時を中心に和船川下り体験ができます。

スカイツリーを一望!

四季折々の景観も美しい新川。黒い橋は子どもたちが命名した「忍者橋」



「船頭」体験してみた!

櫓を押ししたり引いたりして船を進めますが、同じ力加減で続けるのが難しく気付くと左右の岸に寄ってしまいます。気を抜くと早瀬がたるんだり、櫓が櫓杭から外れてしまったり、気が抜けません。船頭になるには船の旋回などさらなる高等技術が必要とのことです。



手取り足取り教えてくれたのは、和船の会の石川さん

取材：広報委員 鈴木 徳光/加藤 直樹

特定非営利活動法人 和船の会

平成25年に設立された和船の会は、和船文化の継承や和船の操船技術の伝承、そして地域の繁栄や水辺を中心としたまちづくりの活性化を目的としています。現在、会員は30名で、毎週金曜と第1・3日曜に活動。コロナ禍以前は「新川千本桜まつり」や「新川あさ市」の開催に合わせて和船の運航を実施していました。「江戸川区は塩の道が通る“水都”だった」ということを伝えたい。和船をきっかけに新川の歴史に触れて、新川の魅力や水辺を身近に感じてもらいたいですね」と話す代表の及川茂さん。

理事長 及川 茂さん

船頭になりたい方は…

毎週金曜日と第1・3日曜日
9:00~12:00
運航は新川さくら館前からスタート
※雨天や強風の場合は中止となります
問い合わせ：090-8514-1508

詳しい活動情報は
公式ツイッターを
ご参照ください。

@NPOwasennokai



鹿骨 第一支部 & 東松本・鹿骨 第二支部



【歴史と花が溢れるエリア】

都営新宿線の篠崎駅とJR総武線の小岩駅のほぼ中間にある「鹿骨」。その地名は、奈良時代に春日大社の創建に際し、鹿島から奈良に向かう神鹿がこの地で息絶え、その死骸を祀ったことが由来。また、古くから花卉の栽培地としても知られ、今もビニールハウスが点在する。

活動は第4ブロックで実施する研修会やゴルフ大会、ボランティアなど。鹿骨第一支部（以下第一支部）の小宮支部長、東松本・鹿骨第二支部（以下第二支部）の川手支部長を中心に、コロナ禍でも会員相互の連絡を密に取り、支部の活性化に努めている。



左上から）鹿骨鹿島神社の神鹿の親子像／しめ縄を生産する岸野さんの作業所を訪問する支部長一行／花壇用の苗や鉢もの、球根など出荷は23区第1位／鹿骨発祥の地とされる鹿見塚神社



（街）エーシーモーション

第一支部 支部長 小宮 勝巳さん

青年部会員やOBが多く、とても仲が良い第一支部。最近ではウォーキングキャンペーンに参加したり、グループLINEで近況報告し合うほど。小宮さんは平成2年に自動車販売会社を起業、令和元年から支部長に。



● … 鹿骨第一支部 ● … 東松本・鹿骨第二支部

（街）川手設備

第二支部 支部長 川手 文男さん

生まれも育ちも鹿骨の川手さん。管工事を手掛ける会社を設立した平成元年に法人会に入会、平成27年から支部長を務めている。温かく頼り甲斐のある性格は支部のまとめ役にピッタリ。会員増強にも積極的。



第一支部
1
（街）エーシーモーション
進藤 康之さん

車のことならなんでも！

欧州輸入車をメインに新車・中古車の販売、修理、買取、カスタマイズまで。こだわりの愛車を個性的に楽しみたい方をサポートしてくれる地域密着の車屋さん。



第一支部
2
（街）アフリー鍼灸整骨院
高橋 繁幸さん

怪我や痛みの改善に

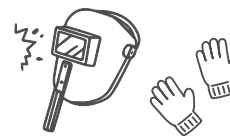
スポーツ障害や、筋肉・骨格・関節が原因の痛みを、理学療法や温熱療法、鍼などでアプローチ。効果の有効性と持続性を追求する美容鍼も得意としている。



第一支部
3
（街）イナゲ
稲毛 貴さん

金属加工で55年

先代から続く確かな技術と信頼で、国内最大級のイベントで使用する看板フレームや、大使館のエクステリア、その他難しい加工案件も多数手掛けている。



物流業界で大活躍

昭和30年創業、ユニック車による建築資材や機械、ボーリング試料等の重量物の運搬を主軸に、平成以降は臨海町にある大型倉庫での押入れ産業や引っ越し業務も行う。



第二支部
4
岩立運送南
岩立 豊美さん



第二支部
5
（街）石井建築設計事務所
高橋 昌伸さん

地域密着、建物と景観をデザインする

住宅やビル、テナントから街づくりにかかわる大きな案件にも対応する創業60年の建築設計事務所。高橋さんは学生時代から約45年、設計一筋のプロフェッショナル。



第二支部
6
（街）OMI
大塚 勝美さん
大塚 由美さん

おかげ様で10周年 趣味は夫婦ゴルフ♡

ステンレス・スチールを高品質かつハイセンスに加工。ハンガーやディスプレイほか、クライアントニーズにしっかりと寄り添った丁寧な施工に定評がある。



こんなの知ってる？

生活支援ロボット

人とロボットが共生する世の中がもう目の前に！

近年、急速に発展するロボット技術。今回は、神奈川県藤沢市にあるロボット体験施設「ロボテラス」に行って、生活に密着した生活支援ロボットについていろいろと教わりながら体験させていただきました。

常時80種の様々なロボットを展示しているロボテラス。これほど多くのロボット展示を行っている施設はほかにはありません

生活支援ロボットとは？

ひとくちに生活支援ロボットと言っても様々な分野向けがあります。

コミュニケーションロボット

生活に楽しさと潤いをプラスし、時刻やニュースなど情報も教えてくれる。

ヒーリングパートナーロボット

おしゃべりや歌、かわいい表情やしぐさで癒しを与える。

介護・リハビリロボット

怪我や病気により歩行が困難な方のリハビリをサポートする自立支援ロボットや、介護従事者の方の負担を軽減する。

移動支援ロボット

歩行が困難な方や高齢の方の移動を支援する車椅子やアシスト付き歩行補助具。坂道も勾配に合わせたアシストで安心。

スマートリビングは当たり前

近い将来、生活支援ロボットは家電のように不可欠なものとなり、複数台のロボットに囲まれて暮らすことが当たり前になるでしょう。

ロボットを使いこなせ！

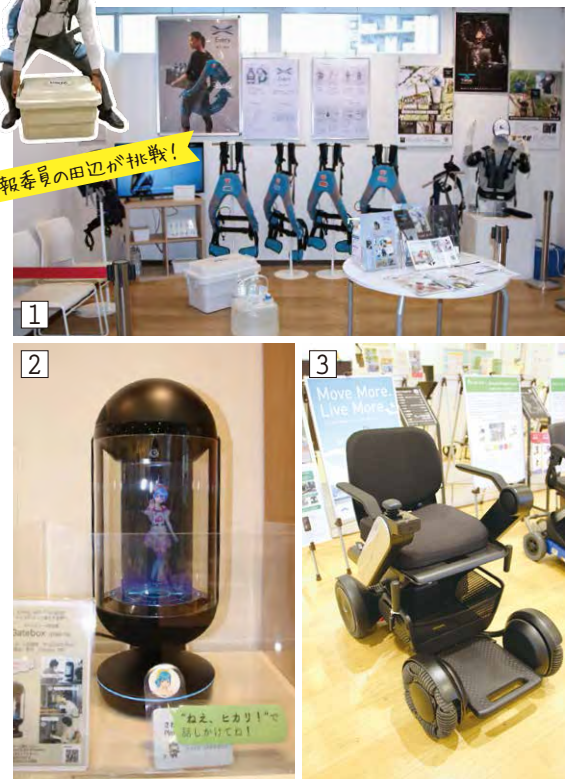
日々、時間と戦いながら忙しい生活を送っている私たち。現代社会では、いかに時間をかけずに情報を得るかが大切です。短時間で有益な情報をゲットし、家事や介護、学習、ペットの世話など積極的にロボットを活用しよう。

最近のスマホは、宿題をかざすと解き方から回答まで全て表示される機能もあり、「丸写しをしては意味がない」と社会問題に。そんな時に叱ってくれるロボットこそ、必要ですね

最先端ロボットを使ってみた

- 1 マッスルスーツ**
空気圧によって腿と腰に作用して軽い力で膝が伸び、20kg が軽く感じた。
- 2 キャラクター召喚装置**
可愛い子に朝起こしてもらえて、外出時には家電を操作。ハマると引きこもりまっしぐら？
- 3 次世代型電動車椅子**
坂道や5cmの段差も楽々、その場で360度回転可能、大容量バッテリーで折り畳みできる。

- A 外部デバイスと連携し複雑なコミュニケーションも実装できるunibo B 医療や介護の現場で精神的ケアにも使われるパロ C 愛犬のように、表情豊かな目で見つめてくれるLOVOT D 会話だけでなく歌やダンスも上手なATOM



公益財団法人湘南産業振興財団 ロボテラス

神奈川県藤沢市辻堂神台2-2-1アイクロス湘南3階
定休日 | 日曜・月曜・祝日・年末年始(臨時休館の場合あり)
営業時間 | 10:00~17:00
入場料 | 無料(小学生以下のお子様だけの入場NG)
TEL | 0466-52-5622 E-mail | roboterrace@cityfujisawa.ne.jp
URL | https://roboterrace.jp/
※臨時貸切等で入場できない場合もあるため、事前問い合わせがおすすめ

近未来の
便利で豊かな生活を
体験しに来てください！

ロボテラス
スタッフ 関さん



えどきた EDOKITA GOURMET グルメ探訪 vol.01

江戸川北法人会エリアの気になるお店を紹介します。
今回は篠崎町にある「kitchen hanohano」さん取材してきました。

洋食 kitchen hanohano



hanohanoランチ サラダ・パン・デザート付き ¥1,870

車の解体工場をリノベした解放感溢れる店内で、人気のローストビーフやハンバーグ、帆立フライがセットになったボリューム満点のランチ。いつ行っても新しい美味しさと驚きに出会えます。



高い天井とオープンキッチン、
太い鉄骨もスタイリッシュ。

都営新宿線の篠崎駅から徒歩約5分。町工場をスタッフ自らリノベした空間で、洋食やフレンチが気取らずに楽しめる注目のお店。

パリッと焼き上げた薄い生地のパizzaも人気。ゴロッと大きなジャガイモとハーブソーセージにニンニクがガツン！120℃の低温でじっくり焼いたローストビーフは、グレービーソースや静岡産わさびソース、北海道産西洋わさびなど好みの食べ方で。パスタ、肉料理、魚料理などメニューが豊富なのも嬉しい。



世界三大生ハムの一つ、ハモン・セラーノは
原木からオーダーごとにスライスして提供される

左から スプリングバレーシルクエール ¥825
季節のカクテル ¥715～ 鳥飼モヒート ¥770

スイーツメニューにこだわりがあるのは、店長の羽野さんが以前パティスリーでスイーツを作っていた経験があるから。店内で提供されるデザートは全て手作りで、デザートを目当てに訪れる女性も多い。

客席の横で豪快にフランベした出来立てのチェリーソースを、熱々のままバニラアイスにかけて温度差を楽しむ「燃えるデザート・チェリージュビレー」は是非、頼みたい一品だ。



男前ピッツア
¥1,760

開放的なオープンキッチンの中の豪快な料理シーンが見られるのも魅力の一つ。ドリンク類もインスタ映えするお洒落なドリンクを多数用意している。料理を食べるだけでなく、楽しさや驚きのある時間を提供したいという思いを込めた「hanohano」、店名には店長自らの名前を冠したのだそう。

お誕生日や記念日を特別な一日にしたいなら、是非行ってみては。素敵なサプライズを演出してくれるかも。



大人の濃厚ティラミス ¥660
チェリージュビレー ¥880



フランベしたソースを
熱々のままアイスに！
完成！

SHOP DATA kitchen hanohano

東京都江戸川区篠崎町5-6-2
03-6638-8454
11:30～14:30 17:30～22:00
月曜・火曜定休 駐車場2台あり
<https://hanohano-edogawa.com/>



羽野 祐一さん HANO YUICHI

千葉や伊豆などのリゾート地や都内のホテル、また海外でも腕を振るってきた南篠崎出身の羽野さん。生まれ育った江戸川区に20年ぶりに戻り、hanohanoをオープン。



※価格は全て税込みです

ACTIVITY
REPORT
01組織委員会 / 会員増強
会員増強決起大会

DATE 2022年9月13日(火)

location ▶ グリーンパレス



会員増強を目指し一致団結を

各支部より120名超が集まり、本年も総力を挙げて会員増強の目標達成に向け団結を深めました。法人会の理念、入会のメリット、EDOKITA CARDなど具体的な施策の説明も実施。皆様、会員増強にご協力をよろしくお願いいたします。

ACTIVITY
REPORT
02源泉部会 / 研修会
日帰りバス研修

DATE 2022年10月4日(火)

location ▶ 東京臨海広域防災公園ほか



防災体験と迎賓館赤坂離宮見学

21名が東京臨海広域防災公園の「そなエリア」でクイズを解きながら首都直下地震の発災から避難までを体験する「東京直下72hTOUR」を体験。コンラッド東京で豪華なランチビュッフェを堪能した後は迎賓館赤坂離宮へ。

ACTIVITY
REPORT
04厚生委員会 / 会員交流
会員親睦ゴルフ大会

DATE 2022年10月26日(水)

location ▶ 姉ヶ崎カントリー倶楽部



3年ぶりの開催に124名が参加

感染対策でプレイ後のパーティは行わず、JCBギフト券やお掃除ロボット、クックフォーミー、A5ランク仙台牛、新鮮野菜詰合せ等の豪華景品を全員に用意。優勝したのはアクリル工業(株)西坂光司(1B)さんでした。

ACTIVITY
REPORT
05源泉部会 / 研修会
年末調整説明会

DATE 2022年11月8日(火)

location ▶ グリーンパレス



オリジナルテキストでしっかり確認

中止されていた対面式年末調整説明会に多くのリクエストがあり、法人会で企画した対面式説明会。税理士の信澤奈津美氏が実際の申請用紙やオリジナルテキストを用い、法改正部分に焦点を当てた講義に77名が参加しました。

ACTIVITY
REPORT
03青年部会 / 研修会
青年部会税務研修会

DATE 2022年10月12日(水)

location ▶ グリーンパレス



インボイス制度と経営者に必要な保険知識

令和5年10月1日の施行まで1年を切ったインボイス制度に向けて、江戸川北税務署法人課税第一部門の奥川上席が『インボイス制度について』と題し、インボイス制度の全体像や適格請求書発行事業者になるための登録方法、ケース別対処法など実践に則した内容を分かりやすく説明されました。

続いて、(株)ライフプラザパートナーズの足立氏からは『節税ありき!が認められなくなったこれからの法人保険と相続保険』。法人保険や相続保険について、ためになる活用法と大切な心得について説明を受けました。

ACTIVITY
REPORT
06税制・社会貢献・政策委員会 / 税を考える週間
菅義偉前首相講演会と
よしもとお笑いライブ

DATE 2022年11月11日(金)

location ▶ 江戸川区総合文化センター

心打たれる話からお笑いまで。充実の講演会

第1部は菅前総理の講演。安倍元総理を偲んだ話やふるさと納税、不妊治療の保険適用など総理大臣経験者にしかない貴重な話をされました。

第2部は江戸川北税務署長が税に関するよもやま話やインボイス制度などを講話され、続く抽選会の後のよしもとお笑いライブには蓮華、パンクブーブー、トータルテンボスが登場。それぞれの特徴が出たお笑いに会場内が笑顔に包まれました。来場者数は税を考える週間としては過去最高の1,051名。いつもより若い方が多く、非常に賑やかな雰囲気でした。



目は口ほどにものを言う。 目線の先にあったのは…!

江戸川北法人会のみなさん、はじめまして、こんにちは。紙面では、「はじめまして!」なのですが、会員のみなさまの中には、リアルに私の話を聞いて下さった方もいらっしゃいますよね。昨年、【7月度研修会 源泉初級コース】で「～元国税調査官『税務署は見ている。』の著者が語る～調査官目線を知って経営に活かそう!」というテーマで約90分お話をさせていただきました。メモを取って下さる方もいらっしゃって、とても気分よく話をすることができました。

私は2008年まで26年間、大阪国税局管内の所轄の税務署で税務調査という仕事をしていたのですが、調査先では「税務署は警察よりも嫌い!」とよく言われました。そうは言っても、経営者を辞めて雇われの身にならない限り、税務署とはずっと付き合わないといけません。

私は、日本の経済の発展を支え続けてきたのは中小企業のみなさんだと思っています。これからも日本の経済を支え続けていただくために、中小企業で働くみなさんの不安を軽減することが私の仕事だと考えています。経営者のみなさんの不安材料のひとつに税務調査がありますよね。税務調査について知っていただくことでみなさんの不安な気持ちが少しでも楽になればという思いで記事を書かせていただきます。

最近、テレビを観ていると行列の出来る名店がよく紹介されています。実は、調査官たちもその手の番組はしっかりチェックしています。税務調査は、損益面だけでは終われません。資産面から除外した売上金が、どのような形でプール、あるいは処分されたかまで調べます。では、ここである飲食店の税務調査の場面をご紹介します。

“奥の和室には年老いた母が寝ているんです。調査には全面的に協力するので、この部屋だけでやっていただけないでしょうか”

母親思いの調査対象者(Aさん)の気持ちを察し、調査官はその申し出を受け入れました。帳簿や原始記録から調査額は算出できたのですが、そのお金

どこにあるのかわかりません。ふと調査官が顔を上げるとAさんの視線は奥の間にむかっていた。

“奥に何かあるに違いない!”

そう思った調査官は、“すみません、ちょっと、トイレを貸していただけますでしょうか?”

と、言って席を立ち、トイレから戻る際に奥の間をこっそり覗きます。人の気配に気づいた母親が寝返りを打ち、背を向けると敷布団があらわになり、調査官は畳が1cmほど、浮き上がっていることを見つけたのです。

Aさんが慌てて和室に入ってきました。

“すっ、すみませんでした・・・。”

Aさんは、母親を起こすと布団をずらし、畳をめくりました。すると、畳の下面にお札が敷き詰められていたのです。

所轄の税務署の調査では、ガサガサ調べるよりも、調査官の説得によって、調査対象者自らがお金の隠し場所を告げるパターンが多かったように思います。不正を働くきっかけは“つい出来心で...”だったのかも知れません。自分で自分を律することは難しいものです。税務調査と縁遠くするには、顧問の税理士さんにはいいことも悪いことも話すようにして、不正がエスカレートしないような関係性を作っていくことが大切なのかなと思っています。

飯田 真弓 (いいだ・まゆみ)
現場一筋26年、元国税調査官“おかん税理士”・産業カウンセラー・健康経営アドバイザー・(一社)日本マインドヘルス協会代表理事。ベストセラー『税務署は見ている。』の著者。税務調査対応策の講演、参加型で眠くならない安全大会、PTAむけワークショップなど関西弁でテンポよい講座は好評。



「BSよしもと」に出演 向島法人会とプレゼン対決



11月3日(木)、グリーンパレスでBSよしもと「Cheeky's aGoGo!」の生放送が行われ、「各都道府県中継企画!となりマッチ」で江戸川区と墨田区が対決。墨田区代表の向島法人会青年部会を相手に、江戸川北法人会青年部会のメンバーや玄舟庵の関さん、そして事務局メンバーも参戦。対決は「観光」「特産品・グルメ」「花火」の3テーマを両軍がプレゼン、ゲストが判定し勝者を決定。船堀タワーや小松菜、金魚、江戸川区花火大会などを熱く語ったその結果は…。見逃した方はBSよしもと番組アーカイブから11月3日放送分(有料)で閲覧を。

3年振りの 瑞江駅前ハロウィン



コロナ禍で中止されていた「MIZUE in Halloween」が瑞江駅前前で10月29日(土)、3年ぶりに開催されました。このイベントは瑞江駅前商店会が主催しており、これまでも青年部会第5ブロックが参加、法人会のPRなどを行ってきました。今年は青年部会の他ブロックやOBも参加し、今川焼や牛ハラミ、ドリンクなどの販売やお手伝いに汗を流しました。さまざまな模擬店が並んだ当日は「美味しい!」「楽しい!」が溢れ、思い思いのコスチュームに身を包んだ子どもたちのハロウィンパレードも復活。以前の活気が久しぶりに戻った一日となりました。

広報誌「EDOKITA」が リニューアル



広報誌「EDOKITA」を2023年1月号から刷新、デザインやタイトルロゴも新しくなりました。「身近な社会探訪」や「こんなの知ってる?」は従来通り広報委員の取材を継続、エリア内の注目の人にスポットをあてた「江戸北の人」や支部・会員を紹介する「EDOKITA Members」、おかん税理士飯田真弓氏によるコラム「税務調査こぼれ話」など新しいコンテンツも加わりました。より多くの方に楽しんでいただける広報誌を目指し、江戸川北法人会の魅力や素敵な人、多彩な活動を発信してまいりますので、取材の際はご協力をお願いいたします。

E Do KITA [えどきた] vol.262 2023.1発行

02 江戸北の人

花火師・柔道家 天野安喜子

04 身近な社会探訪

櫓漕ぎ船でたどる、塩の道「新川」

06 EDOKITA Members file 01

鹿骨第一支部 & 東松本・鹿骨第二支部

08 こんな知ってる?

人とロボットが共生する世の中がもう目の前に!

10 えどきたグルメ探訪 | vol.01

kitchen hanohano

12 活動報告

14 おかん税理士・飯田真弓の 税務調査こぼれ話

15 News & Information

「EDOKITA」263号は
2023年4月発行です



令和5年 新春講演会 & 賀詞交歓会

杉本 昌隆 八段



師匠が語る “藤井聡太” という才能

～将棋界の人材育成から学ぶ～

プロフィール

1968年 愛知県名古屋出身。1980年6級で故・板谷進九段門下。1990年四段、2019年八段、2002年第20回朝日オープン将棋選手権準優勝。2019年第77期C級1組順位戦で9勝1敗でB級2組へ復帰昇級。50歳での昇級を果たし「中年の星」と称される。2020年 竜王戦ランキング戦3組決勝で藤井七段と二度目の師弟対決。執筆活動、テレビ出演、講演等もこなす。

令和5年

1/13 (金)

15:00～19:00 (開場14:30)

感染拡大等の社会情勢により中止する場合があります

場所 **グリーンパレス 5F 孔雀の間**

江戸川区松島1-38-1 TEL 03-3653-5151

会費 **5,000円 (祝賀パーティ出席者)**

※祝賀パーティに参加しない方は無料です

【第1部】新春講演会……15:00～16:00 【第2部】年頭の祝辞…16:15～16:55

【第3部】祝賀パーティ…17:20～19:00

お申し込みはお電話で **TEL:03-3681-3474**

- 会場は換気をしております。また、検温をお願いしております ●ソーシャルディスタンスにご協力をお願いいたします
- 行政等からの発表に応じ、発熱、咳、倦怠感等、少しでも感冒症状のある方は来場をご遠慮ください

主催：一般社団法人 江戸川北法人会

東京都江戸川区小松川4-98 E-mail info@edokita.or.jp TEL 03-3681-3474 FAX 03-3683-0354